

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）  
 ■■■■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-370-2 原子炉格納容器フィルタベント系について）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
<div data-bbox="118 363 863 520" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           柏崎の格納容器圧力逃がし装置のフィルタ装置は自社設計、東二及び女川は Framatome 製のため、同一メーカー製である東二との比較表を作成         </div>	<p>補足-270-3【原子炉格納施設の設計条件に関する説明書に係る補足説明資料（格納容器圧力逃がし装置について）】</p>	<p>補足-370-2 原子炉格納容器フィルタベント系について</p>	<p>資料名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）  
 ■■■■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-370-2 原子炉格納容器フィルタベント系について）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
	目次	目次	
	補足1 格納容器圧力逃がし装置の漏えいに対する考慮について ..... 補足1-1	補足1 原子炉格納容器フィルタベント系の漏えいに対する考慮について ..... 補足1-1	設備名称の相違
	補足2 フィルタ装置の各構成要素における機能について 補足2-1	補足2 フィルタ装置の各構成要素における機能について 補足2-1	
	補足3 電源構成の考え方について..... 補足3-1	補足3 電源構成の考え方について ..... 補足3-1	
	補足4 スクラビング水が管理範囲を超えた場合の措置について ..... 補足4-1	補足4 スクラバ溶液が管理範囲を超えた場合の措置について ..... 補足4-1	設備名称の相違
	補足5 圧力開放板の信頼性について..... 補足5-1	補足5 フィルタ装置出口側ラプチャディスクの信頼性について ..... 補足5-1	設備名称の相違
	補足6 フレキシブルシャフトが常時接続されている状態における 弁操作の詳細メカニズム..... 補足6-1	補足6 フレキシブルシャフトが常時接続されている状態における 弁操作の詳細メカニズム ..... 補足6-1	
	補足7 格納容器圧力逃がし装置の計装設備の網羅性について ..... 補足7-1	補足7 原子炉格納容器フィルタベント系の計装設備の網羅性につ いて ..... 補足7-1	設備名称の相違
	補足8 格納容器圧力逃がし装置の計装設備の概略構成図・ 補足8-1	補足8 原子炉格納容器フィルタベント系の計装設備の概略構成図 ..... 補足8-1	
	補足9 フィルタ装置入口水素濃度計の計測時間遅れについて ..... 補足9-1	補足9 フィルタ装置出口水素濃度の計測時間遅れについて ..... 補足9-1	設備の相違 ・女川は、ベント停止後、窒素供給による系統パージ中において系統内の水素濃度が低下していることを確認するために、系統内の窒素の流れを考慮し、出口配管の水素濃度を監視する。東二は、系統内の蒸気が凝縮してフィルタ装置に戻ると非凝縮性ガス濃度が上昇し、可燃限界に至るおそれがある入口配管に系統パージ停止後に水素が長期的に滞留しないことを確認する。
	補足10 配管内面に付着した放射性物質による発熱の影響につい て..... 補足10-1	補足10 配管内面に付着した放射性物質による発熱の影響につい て ..... 補足10-1	
	補足11 主ライン・弁の構成について..... 補足11-1	補足11 主ライン・弁の構成について ..... 補足11-1	
	補足12 系統内の水素濃度について..... 補足12-1	補足12 系統内の水素濃度について ..... 補足12-1	
	補足13 格納容器圧力逃がし装置使用後の保管管理..... 補足13-1	補足13 フィルタ装置使用後の保管管理 ..... 補足13-1	設備名称の相違

赤字：設備，運用又は体制の相違点（設計方針の相違）  
 緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）  
 ■：前回提出時からの変更箇所

2021年4月6日  
 02-補-E-08-0002\_改1

先行審査プラントの記載との比較表（補足-370-2 原子炉格納容器フィルタベント系について）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
	補足14 計装設備が計測不能になった場合の推定方法，監視場所について……………補足14-1	補足14 計装設備が計測不能になった場合の推定方法，監視場所について……………補足14-1	
	補足15 エアロゾルの密度の変化が慣性衝突効果に与える影響について……………補足15-1	補足15 エアロゾルの密度の変化が慣性衝突効果に与える影響について……………補足15-1	
	補足16 フィルタ装置における化学反応熱について……………補足16-1	補足16 フィルタ装置における化学反応熱について……………補足16-1	
	補足17 フィルタ装置入口配管の位置について……………補足17-1		設備の相違 ・東二のフィルタ装置入口配管は，フィルタ装置の通常水位より低い位置でフィルタ装置に接続されるため，この設計による悪影響の有無を確認しているが，女川は，フィルタ装置の通常水位より高い位置で接続されるため該当しない。
		補足17 フィルタ装置の台数の違いによる影響……………補足17-1	設備の相違 ・東二はフィルタ装置が1台であるが，女川はフィルタ装置3台を並列に設置し，ベントガスが同等流入する設計としている。
	補足18 スクラビング水スロッシングの影響について……………補足18-1	補足18 スクラバ溶液スロッシングの影響について……………補足18-1	設備名称の相違
	補足19 格納容器ベント時の発生荷重について……………補足19-1	補足19 原子炉格納容器ベント時の発生荷重について……………補足19-1	
	補足20 フィルタ容器の内部構造物強度計算について……………補足20-1	補足20 フィルタ装置の内部構造物強度計算について……………補足20-1	表現の相違
	補足21 移送ポンプの設定根拠について……………補足21-1		設備名称の相違 設備の相違 ・女川はベント後のスクラバ溶液のサブプレッションチェンバへの移送を自重により実施し，ポンプが不要な設計としている。
	補足22 F Pの再揮発による影響……………補足22-1	補足21 FPの再揮発による影響……………補足21-1	付番の相違（以下，同様の差異は記載を省略）
	補足23 F Pの放射性壊変による被ばく評価への影響……………補足23-1	補足22 FPの放射性壊変による被ばく評価への影響……………補足22-1	

赤字：設備，運用又は体制の相違点（設計方針の相違）  
 緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）  
 ■■■■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-370-2 原子炉格納容器フィルタベント系について）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
	補足24 フィルタの除去性能に与える影響について……補足24-1	補足23 フィルタの除去性能に与える影響について……補足23-1	
	補足25 ステンレス構造材，膨張黒鉛パッキンの妥当性について ……補足25-1	補足24 ステンレス構造材，膨張黒鉛パッキンの妥当性について ……補足24-1	
	補足26 J A V A試験及びJ A V A P L U S試験の適用性について……補足26-1	補足25 J A V A試験及びJ A V A P L U S試験の適用性について……補足25-1	
	補足27 製造時における内部構造物の検査について……補足27-1	補足26 製造時における内部構造物の検査について……補足26-1	
	補足28 ベント実施時の放射線監視測定の考え方について ……補足28-1	補足27 ベント実施時の放射線監視測定の考え方について ……補足27-1	
	補足29 格納容器圧力逃がし装置の外部事象に対する考慮について……補足29-1	補足28 原子炉格納容器フィルタベント系の外部事象に対する考慮について……補足28-1	設備名称の相違
		補足29 排水設備（自主対策設備）について……補足29-1	設備の相違 ・排水設備について，東二は重大事故等対処設備としているが，女川は原子炉格納容器の破損及び原子炉格納容器内の水素による爆発を防止する機能に直接関係しない設備であるため，自主対策設備として位置付けている。
		補足30 枝管に対する混合ガスの蓄積評価について……補足30-1	設計方針の相違 ・別紙1における混合ガスの蓄積可能性の評価について，先行プラントと差異があるため作成。女川はガイドラインに則った評価としている。